

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ

(回答)

この度、私たち北海道反原発連合では、この北海道の地から第46回衆議院総選挙に立候補予定の皆様に対し、アンケートを取らせていただくことになりました。

「311」東日本大震災以降、日本のエネルギー政策はこれからの日本の在り方を考える上で、避けては通れない課題となりました。原子力発電所に賛成/反対どちらの立場であろうと、これからの国政を担う皆様のご意見を頂戴し、私たちの一票を投じる（意思を託す）ための参考にさせていただきたいと思っております。

回答は内容、文章の修正などは行わず、全て北海道反原発連合のHP (<http://h-can.net>)にて公開いたします。

返送は北海道反原発連合 代表FAX番号 011(351)2378 までお願いします。

また返答の期日は、このアンケート用紙を受け取られてから1週間を目処にご返答願います。ご多忙とは存じますが、何卒ご協力いただけますようお願い申し上げます。

北海道八選区

前田一男(自由民主党)

平成24年11月
北海道反原発連合

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。

どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原子力規制委員会、専門的判断にゆだね、再稼働の可否については順次判断し、全ての原発について3年以内の結論を目標したい。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。

どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原子力委員会による安全性についての専門的判断に委ねます。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

民主党の「すでに認可したから政治が止のらねない」との判断には疑義があり、規制委員会の安全についての専門的判断に委ねます。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・断固として認められない。
- 慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- 知っている。
- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いませんか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい
- 考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。